

豚で孝(耕)行、荒れ地を豊地へ

吉武やよいさんが最優秀

建設コンサルタンツ協会(建コン協)九州支部(福岡宏治支部長)は8日、福岡市中央区の天神スカイホールで「夢アイデア交流会2018」を開いた。第16回まちづくりに関する提案募集の応募作品プレゼンテーションが行われ、最優秀賞に「豚で孝(耕)行、荒れ地を豊地へ」を発表した



吉武やよいさんが選ばれ、表彰された写真。

開会に当たり福岡支部長は「夢を持って国土整備に関わり、そのために地域で暮らす人々から知恵を借り

今回の夢アイデア募集には北海道から鹿児島まで、10歳から77歳までの幅広い提案者から53作品の応募があり、プレゼンテーションでは1次審査で選ばれ

建コン協九州 夢アイデア交流会

て協働を進めていくのが夢アイディア事業の醍醐味(だいいごみ)であり、難しさ。プロとしてそれを実現していくのが建設コンサルタン

た10作品の提案者が子育て環境や道路を利用したにぎわい空間づくり、地域資源の再発見などをテーマに夢やアイデア、思いを披露した。最優秀賞に選ばれた吉武

さんは耕作放棄地に豚を放牧し除草や「豚鼻耕法」で開墾して耕作地に再生させ、農業体験や食育につなげることを提案した。

このほか「おとしよりといっしょに温泉で町づくり」を発表した山下あゆみさん、「新型大学生生態住宅群―自然と人間の共生―」を発表した山田寛さんがそれぞれ優秀賞に選ばれた。

審査結果発表後、審査委員は「継続していくのが一番の力」「社会解決型の提案が印象に残った」「地域力を上げるアイデアを出してもらった」「形を変えてビジネスにつなげられそう

な提案があった」などと講評。玉川孝道審査委員長は「大変楽しく、ユーモアあふれる、思い切った夢を伸ばした作品が多かった」と述べた。

表彰式で吉武さんは「皆さんにこういう形のまちづくりもあると知ってもらえれば」と喜びを語った。